



# 哲學研究

第 三 卷 第 十 拾 册

第 三 十 一 號

大 正 七 年 十 月 一 日 發 行

大正五年四月六日第三種郵便物認可  
大正七年九月二十七日印刷納本(每月一回一日發行)

デカルトの「規則論」に現はれたる批判論的思想……………

……………文學博士 朝永三十郎

交替遠近錯覺の變換時間に就て……………文學士 黒田源次

米國に於ける黑人教育の發達……………文學博士 小西重直

美の具象性(完結)……………文學博士 深田康算

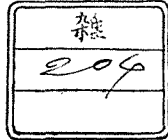
法理と倫理……………文學士 安部晴之助

彙報……………

新著紹介……………

京 都 帝 國 大 學 文 學 科 大 學 內

京 都 哲 學 會



## 京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究會ヲ開ク
- 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
- 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文科大學内ニ設ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名) 京都帝國大學文科大學哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
- 一、書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年貳圓八拾錢、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

## 京都哲學會役員

委員	文藝博士
波多野精一	文學博士
西田幾多郎	文學博士
朝永三十郎	文學博士
千葉胤成	文學士
狩野直喜	文學博士
米田庄太郎	文學博士
高瀬武次郎	文學博士
植田壽藏	文學士
野上俊夫	文學士
松本文三郎	文學博士
深田康算	文學博士
藤井健治郎	文學博士
小西重直	文學博士
寶嚴方治	文學博士

本譯の意義と價值とは、どこまでも充分の理解を以て原著の思想と論理とを原著の表現に従ふて嚴密にこそ邦語に移す、と云ふこととでなければならぬ。従つて、本譯は、唯だ外的な思想の概要を捉へて、これが安價なる利用をば目的とせる人々に對して存在すべきものでなくして、どこまでも、生きた深い眞理をば、『理性そのものの源泉から汲み出さうと苦心する人々』に對してのみ意義を有つてゐる、と言はなければならぬ。本書の内容の詳しい紹介は、ここには省略し、自分は終りに、再び、此の有益なる譯書をば、わが讀書界に與へられた譯者の努力に對して感謝したいと思ふ。(東京岩波書店發行、定價紙圓五拾錢、世良壽男)

### 寄贈雜誌

哲學雜誌、思潮、丁酉倫理講演集、心理研究、六合雜誌、東洋哲學、無盡燈、東亞之光、早稻田文學、學校教育、教育、内外教育評論、普通教育、教育研究、教育學術界、教育界、教育時論、兵庫教育、奈良縣教育、靜岡縣教育、岐阜縣教育、長崎縣教育雜誌、藝術教育、宮城教育、山形縣教育

## 前 號 目 次

ディルタイの記載的分析的心理學	文學士	勝部謙造
美の具象性	文學博士	深田康算
實踐理性批判の根本問題に就て	文學士	世良壽男
識別作用の非相稱性に關する實驗的研究(承前)	文學士	千葉胤成
個別的因果律の論理に就きて左右田博士の教を乞ふ	文學博士	田邊元
ヘルマン、コオエンに就て	文學士	中川得立
ヘルマン、コオエン肖像	繪	

會 告

一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ御申込被下度候  
 一、會員ニシテ轉居セラレタル節ハ直チニ其旨御報知被下度候  
 一、會費ハ振替口座大阪參〇六六參番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候  
 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・交換雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學  
 文科大學内  
**京都哲學會**  
 振替口座大阪參〇六六參番

定 價		廣 告 料	
冊 數	冊 數	一 頁	金 拾 圓
一 冊	金 貳 拾 五 錢	半 頁	金 六 圓
六 冊 (前金)	金 壹 圓 五 拾 錢		
十二 冊 (前金)	金 參 圓 不 中		
	受 稅		

註 文 規 定

◎會員にあらざる譯讀者の御註文及び廣告に關する件は寶文館へ御申込下され度候  
 ◎本誌の御註文はすべて代金郵稅共前金にて御送り下さるべく候  
 ◎振替貯金にて御送金は(東京二八〇番)寶文館宛に願上候  
 ◎前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章押捺致すべきに付直に御拂込下され度候  
 ◎見本御入用の場合は金貳拾錢御送り下され度候  
 ◎特に請求書及領收書等を要する場合は郵券三錢御送付下され度候

大正七年九月二十七日印刷納本  
 大正七年 十月 一日發 行  
 第三十一號 第參卷  
 第拾冊

京都帝國大學文科大學内

編輯者 京都哲學會

右代表者 寶 殿 方 治

發行者 大 葉 久 吉

印刷者 青 柳 十 一 郎

印刷所 秀英舍第一工場



發行所 東京日本橋區本石町三丁目  
 (振替口座東京二八〇番) **寶 文 館**

發賣元 東京市日本橋區本石町三丁目  
 大阪市東區淡路町四丁目 **寶 文 館**

賣 捌 所

(東京) 東京堂、東海堂、北隆館、  
 良明堂、上田屋 (大阪) 盛文館  
 (京都) 寶文館 (神戸) 寶文館

米澤高等工業學校教授

櫻井寅之助著

新刊

# 歐米野鳥誌

布裝全一册
定價壹圓八拾錢
送料金拾貳錢

最近歐米を歴遊せる櫻井教授の視察せられたる歐米に於ける諸方面の雜感は本書に詳叙せられて餘蘊なし!!

本書は東京高等師範學校に理化、東京帝國大學に化學を學び、母校幹事及び米澤高等工業學校教頭として盛名ありし櫻井教授が、最近歐米に遊學し、或は北米の天地に黃白赤黒各人種の競争比較試驗を受くる同胞の成績を考察し或は歐洲各國の緊張せる奮闘の現状を視、從來の教育並に民俗の長短を察し又孜々として戦後の經營に没頭せる實況を目撃して、存外二ヶ年親しく視察せられたる諸方面の事實を叙し、謹厚又洒脫、時には鋭雋の批評を加へ、時には堂々の經綸を説き、而も行文極めて流麗、眞に快讀一過すべからしむ。されば教育者と非教育者との論なく、將た男女老若、朝野貴賤の別なく、讀んで面白く亦益する所多かるべく、眞に通讀卷を蔽ふ能はざる快著とは是なり。切に一本の備付を薦む。

哲學研究

第三十一號

第三卷 第十册

大正七年(每月一回) 十月一日發行(一日發行)

(大正五年四月六日) (第三種郵便物認可)

定價金貳拾五錢

大坂市東區淡路町番三

寶文館

東京日本橋區本石町番〇八二